

隨想

世界の酒



カット 新谷琇紀

野性的で マイルド

新谷 瑛紀

△彫刻家▽



西洋彫刻の真髓に触れようと思えば、自然に日本の土地から西に動かざるを得なかった。一九六五年、単身ローマに留学。北野町で生まれ、幼少より異人さん、異人ハウスに囲まれて育ったため、いわば洋風文化の空気の中で私の感性が培われたのだろうか、ローマに来ても何の異和感も感じなかつ

た。だが、当時はイタリア語が不得手だったためスムーズにローマの人たちとの交流がもてなかつた。英語による生活だったので自然にローマのアメリカ人の生活習慣に馴染んでいくようになった。そのひとつの収穫がバーボンとの幸福な出逢いだろうか？ パチカン市国に留学しているアメリカ人神学生たちのクリスマス・パーティに招かれ、生まれて初めて試飲したのは七面鳥の絵が書いてあるラベルの「WILD TURKEY」というメロウな芳香とマイルドな味わいを持った琥珀色のバーボン・ウイスキーであった。イタリアの彫刻を研究するためには、イタリアに関することすべてを知ることから始まると思いつつ食欲なまでに意欲を燃やしていたから、アメ

リカ産の酒と聞いただけで、卒直にいってあまり好きにはなれなかつた。しかし初めて口にした時の強力なインプレッションが次第に私の心を魅了し、在欧中もイタリアのワイン、ブランデーと並びバーボンも飲んでいた。合衆国の初代大統領ジョージ・ワシントンが就任した一七八九年にケンタッキー州に住む牧師エリザヤ・クレグがどうもろこしを使ってコーン・ウイスキーをつくり始め、これがバーボン・ウイスキーとして発展していったそうだ。今日ではアメリカの三大ウイスキー（ライ・ウイスキー・アメリカン・ブレンデッド・ウイスキー・バーボン・ウイスキー）の代表的存在となっている。なかでも米国政府の重要な財源の一つとなつているバーボンは、フランスからの移民が故国のBOURBON王朝を憐んでつけた地名に由来するもので、一九二〇年から三三年まで禁酒法が実施されていた期間も薬用アルコールとして細々と生きのびていた。そして現在は「原料のとうもろこしが51%～79%、アルコール度40～80度で蒸留したものの、内側を焦がした新しい白オーケの樽で二年以上貯蔵したもの」等と法律できびしく定義されている。こうして出来たのがストレート・バーボン・ウイスキーなのである。男らしい爽快さ・野性味そ

してマイルドな風味、アメリカの開拓時代を偲ばせるバイオニヤ精神に魅せられて私は今日もバーボンを愛している。

個性豊かな中年野郎が毎月集いバーボンの80ブルーフ以上の強いアルコールで肉体を消毒、宮司さんの厄払いを受けて汚れ、罪の多き心身を清めてもらい、ワイワイガヤガヤとグローバルなセンスで語り合う一見楽しそうなサロンが出来ている。（私もメンバーである）ウイスキーを飲み過ぎるとイントボテンツになるという俗説もあるそうだ。これは大変／特にものを創る人はボテンシャルがなければダメ。バーボンを飲んで吐きかけられる男性の息のニオイが快いという女性が案外多いらしい。これも私がバーボン・ウイスキーを愛する理由の一つかも知れぬ。ビバ／バーボン！

ワインと 塙田 正志

（上智大学外国语学部講師）



人類で最初にワインを知ったと

いうノアが飲んだワインも、古代から近世までのヨーロッパ人が飲んだそれも、今日のワインと比較するとおいしくなかつただろうといわれている。ワインの質が飛躍的に向上したのは近々三百年に過ぎないからである。それにはコルクの利用や高級ワインを買うことができるブルジョワジーの誕生などいろいろな理由もあるであろうが、根気よくワインの質の向上を待ちつつ、ワインを軽ける方法が普及したのが最大の理由であろう。昨年の夏の北イタリアのことイタリアの赤ワインを代表する銘酒バローロの醸造所の一つを訪れた。九月初めの朝、秋の早いヨーロッパのこととて、少し肌寒さを感じるほどだった。声をかけても返事がないままに地下の酒倉に降りてみると、持主である老夫婦が大きな酒樽に梯子をかけ、樽の上の穴からガラスの壺を使ってワインを注いでいるところである。全部の樽にワインをつぎ足したあと二人は私の傍へやってきて、「今朝は冷えたから、こうしてやらないとワインが風邪を引くといけないでね」という。つまり、樽の中のワインが寒さで収縮して空氣に触れる面積が大きくなるとワインが劣化するから、つぎ足しによつて表面積を小さくするのである。ここでは、栗の樽と桟の樽を

使っていて、ワインを栗で一年熟成させたあとで桟に移してまた二年熟成させる。こうした細かい心遣いは、老夫婦二人にわざかな使用人だけという小さい醸造所だからこそできるのである。一九七六年もまた芳香が生れて将来が楽しみだというと主人は私の顔をのぞき込むようにして「どうだ」と聞く。七六年はもうボディもあり、グリセリンのできも良い。七七年もすでに芳香目を細める。子供の成長を待つ親と同じである。

バローロのもう一つの醸造所のこと。この老主人は奥さんが持ってきた試飲用のグラスを一つ嗅いでみて洗剤の臭いがするとそれを突き返していた。この醸造所は地下が三階もあって、ワインを徐々に下の樽へ移して行く。一階下るごとに二、三度は气温が下って、壠に入ったワインが眠っている地下三階の气温は夏というのに十六度ぐらいしかなかつた。良いワインはこうした子供を育てるにも似た心遣いから生まれる。まさにワインの「軽け」である。ただ、酸味や渋味や苦味のバランスも良く、しかもボディと芳香のある良いワインは良い料理を必要とする。「良い料理は良いワインを映し出す鏡である」と言つた

人がある。それもフランス・ワインにはフランス料理、イタリア・ワインにはイタリア料理でなくては楽しくない。神戸には幸い、そういう一貫したレストランが少くない。神戸っ子のそうした筋を通すところが私は好きだ。例えばベルゲンとかフック(花隈店)とか

紹興酒を ロツクで

潘 美香

△中国酒家「楊貴妃」▽

中国人は古来より食生活に関しても、とりわけ質を尽くす国民のようだ。中華料理は他に比べてかなりのボリュームがありながら中国人に肥満した人が少ないことでも明らかのように、単に美食だけなく、漢方薬処方による知恵が生かされており、東洋文化の中心として長い歴史を持つ國ゆえに深い研究がなされています。食事は大勢で円卓を囲み、ガヤガヤと

立ち寄った贵州村が、非常に貧しく、自分が窮者となつた暁にはこの地酒を國の代表酒とし村を豊かに富ましたい、と胸中に志しそして見事に叶え今日に至っているのです。80度以上のアルコール度を持つこの酒、毛主席の熱い闘志が漲つているようだ……。

最もボビュラーなのが紹興酒。老酒(モチ米を原料に醸造、日本の清酒にあたる)の一種で中國の酒倉ともいえる紹興地方で造られており、最後まで料理の味を楽しむことができるうえ、味覚を麻痺させず、二日酔しないのが魅力です。昔、女の子が生まれた日、その家の瓶に醸造された娘が嫁ぐときに初めて祝い酒として皆に振舞われたという心温まるい伝えを持っており今日多くの方に

話しながらゆっくり時間をかけて味わいます。こうすれば消化もよく、また何よりも家庭團らんの憩いの場として大切に考えられておりより楽しくより美味しく温和に時を過ごすのです。そして欠かせないのがお酒(もちろん中国酒)。古い歴史と限りない数を誇る中国酒のうち日本人に有名なのが茅台酒と紹興酒。前者は公式宴席において国賓をもてなすとき、必ず孟に注がれる、いわば國の代表酒です。故毛沢東主席が政権を掌中に治める前のこと、長征の途中に立ち寄った贵州村が、非常に貧しく、自分が窮者となつた暁にはこの地酒を國の代表酒とし村を豊かに富ましたい、と胸中に志しそして見事に叶え今日に至っているのです。80度以上のアルコール度を持つこの酒、毛主席の熱い闘志が漲つているようだ……。

神戸は國際都市であり、中国人が多く住んでいるためか一流(もちろん味の方)中華料理店も多く中国酒の一般への普及も早かつたようで、いながらにして本場の味を楽しめるのは神戸っ子の特権かもしれませんね。及ばずながら、私も中国酒家「楊貴妃」というスナックを始めて七年になりますが幸いにも陳舜臣先生その他多くの方々の助言を頂きながらより愛される店に、と努力いたしております。オープン当時、本来熱爛かストレートの紹興酒を飲み易くとロツクでお出ししましたら、今や日本はもとより海外にまでロツクが流行。元祖の本人が驚いている次第ですが、まだお試しになつていな方はぜひ、どうぞ! とてもオイシイですよ。



チャイナ服姿も美しい潘さん

□ある集いその足あと
アサヒビール

神戸スポーツマン ほろにが会のこと

濱永 裕

△兵庫県警察本部・神戸スポほろ幹事▽

カラーン・カラーン・カラーン！ タ
イムアップをしらせる鈴、全員起
立。アサヒビールで洗い流した喉
で、奮声を張り上げて歌う。“若い
力”と“オリンピックの歌”。副
会長のユーモアたっぷりの閉会の
辞。そして散会の乾杯。毎月第二
金曜日午後七時、国際ホテル地下
レストラン・ニューコウベをあと
に、翌月の再会を約してネオンの
街にとけ込んでゆく神戸スポほろ
会員たち。

その昔、毎夜のごとく、三宮界
隈で顔を会わせていた左利きのス



我らスポーツマン、ビールで乾杯／手前、左側が筆者

ボーツマン達が、どこかに集まつ
て、朗らかに騒ぎながら、しかも
できるだけ多く、安く飲める会を
作ろうではないかということで情
報交換の結果、「アサヒビールが
ほろにが会」というのやつててで
「よっしゃ、その線でいこう」と
いうことになり、昭和四十年七月
に第一回アサヒビール神戸スポー
ツマンほろにが会がスタートし
た。以後今日まで百五十カ月百五
十回、晴雨不問。文字通り、台風
が来ようが、ゼンストや大雪で交
通が不通にならうが、中止され
ることはなく正にスポーツマンの集
まる会としての面目躍如たるもの
である。その百五十回を通算欠席
〇回、入院中には医者の目を掠め
て抜け出すという、涙ぐましい努
力の甲斐あって全回出席を全うし
ている意志強固？な人もいる。毎
年七月に過去一年の皆勤・精勤の
伝達があるが、その時にもそれぞ
れ十名位は受賞している。

明文化された会則というものは
現在に至るも無く、ただ学生時代
からスポーツをし、現在もそのス
ポーツを愛し、酒に親しめる人間
である。但し、入会祝として
中ジョッキ七杯以上という嬉しい
条件がつく。

現在登録会員は九十名で、年令
は明治・大正・昭和と三代にわた
り、種目は新聞のスポーツ面に掲
載されるものであれば何でもよく
まして職業にいたつては全く不問
である。

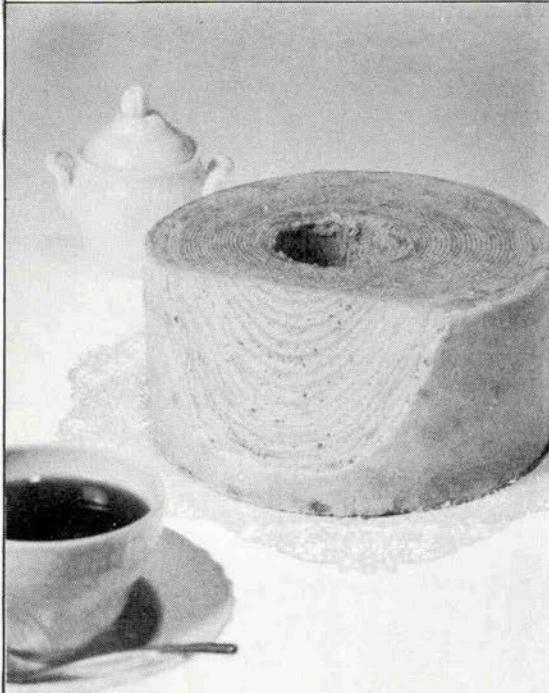
月例会は国際ホテル地下レスト
ラン・ニューコウベで催され、四
月頃には花見の遠足、九月頃には
六甲山でジングスカンバーティー
と遠出をして、相互の親睦を深め
また十二月には神戸市内で家族を
含めた忘年会兼クリスマスパーティーを
举行している。例会では約
三分の二の会員が出席して、一カ
月間のスポーツの成績、仕事のこ
と、友人の消息等、アサヒビール
のジョッキを儲けながら話題は限
りなく広がり、和気藹々のうちに
時は過ぎてゆく。しかし、政治向
きの話と單一学校名だけをあげて
の話だけは禁じられている。

カラーン・カラーン・カラーン 每月第

二金曜日午後六時から、プレ
イの合図。この合図に一秒でも遅
刻して入場するとペナルティを取
られる。会長の開会の挨拶、一カ
月の会員の無事を感謝しての乾
杯。七時の閉会までの一時間を見
るに使つてアサヒビールを飲み、
食事をしながら今日も愉快な会話を
がはずんで、昔日のヤングスporte
マンの楽しい会は続いてゆく。

●連絡先／会長・高瀬昇（明石市本町二
七一三、〇七八一九一一六五三三）

大きく育った 味の年輪



バウムクーヘン ¥700~¥3,000

北欧の銘菓 ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市西区熊内町1-8(南蛮美術館東隣)TEL 221-1164
■三宮センター店・さんちか店・丸・そごう・阪急・三越・神戸アーバト・元町店



きもの工芸

あんがら庵

神戸
本部・仕入部
本店

さんちか店

神戸市東灘区青木五丁目一五二一九〇
神戸市生田区三宮町二丁目一一五

電話○七八一四五二一五二九〇(代)
電話○七八一三三三一五二九八(代)

東京
銀座コア店
銀座メルサ店

神戸市生田区三宮町一丁目一
東京都中央区銀座五丁目自八一〇
東京都中央区銀座五丁目七一一二
(四階きものコア)
電話○七八一三三三一一七〇〇

電話○三一五七三一五二九八(代)
電話○三一五七四一八〇六五(直)
電話○三一四七七一三四〇九(直)
電話○三一二一一〇五一(代)
(内線二九四)
電話○三一九八七一〇五六一(直)

渋谷東急店
日本橋東急店
池袋パルコ店

東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一
(五階呉服売場)
東京都中央区日本橋通一丁目九一二
(四階呉服売場)
東京都豊島区南池袋一丁目二八一二
(四階きもの小路)

背広とマンジ 竹中 郁

△絵と文／詩人▽

今まで記念造型物といえば、庶民が見上げるようこしらえられていた。手で触れられぬよう、台石の上にのせてあつたり、ぐるりと囲いで囲つたりしてあつた。

お寺の本堂の縁側にあるビンズルさんと、天神さんにある金物の牛だけぐらいが、庶民が撫でたりさすつたりできた。

東遊園地という方が昔者の私にはわかりよいのだが、市役所の浜側につづく公園の空地にある花崗岩の三つのかたまり。もう一つは兵庫運河の第五橋を南へ渡った薬仙寺の境内の同じく花崗岩のかたまり。この二つは考案者が同じだけに近寄る民衆にしたしみを感じさせる仕組になつてゐる。近寄る人間がそばに立つと、その膝頭くらいでの高さの石が、平べつたく臥そべらせてある。腰を掛けようと思えば、掛けられる。

前者は明治五年に太政官令で官員洋服着用がきまつて、百年を経た記念。神戸という土地がいちはやく男子洋服の仕立地として名を為したので、神戸の洋服商組合がスポンサーとなつて竣工した。作者は山口牧生君ほか二人のグループ。

北向きに頭（かしら）をおいて、右の胸にでも当る位置にマンジを長目に深く彫りこんだだけ。これで死者供養のエスプリはわれわれ仏教圏に育つた民族には十分なサインとして浸透していく。朝鮮の東海岸、あれはどこだったか。新羅の王が自分の墓を海中にこしらえさせた。水中にふかく石を沈めて水平に臥かせた形らしい。写真でみ

の一部として在る。前の二個の石との間は人の往来ができる。

この小さな広場を洋服屋の仕事場の裁ち台とでも思えば、見る者は忽ち註文主にでもなつたような想像がわく。そんな発想だ。

上衣やズボンのリアリズムがスポーツサーへの遠慮からか、少々ありすぎるのが惜しい。もつと飛躍的な变形があつた方がよかつた。と、まあ批評家面をしていうが、とにかく、商業主義の俗臭は十分に始末しきつてあって、作家の創造精神やその手はよごしてはいられない作だ。

これと比べると、薬仙寺の方は三十余年前の戦災死をとげた人々への鎮魂が主題だ。詩人の君本君たちの主導調査で、記録もフィルムもできたのを、総合的にしめくるためのモニュメントだ。彫刻として処理しやすい要素がそろつっていたといえぱいえる。

ただの記憶だからたしかなことはいえないが、この発想があるとすると、モニュマンを水平に横たえるという方式は古くから東洋にあるのだ。博多の西の今宿村というところへ話をしにいったとき、大杉栄夫婦の墓へ案内された。一字も彫ってない牛の背のような石が大と小、もつ一つあの時、甘粕大尉の手にかかった甥の墓が小さく寄りそっていた。この配置の発想も水平に重みがおかれていた。垂直にまとめる発想がわが国で圧倒的なのは、仏教がひろまつて、あの塔（スツーバ）思想がゆき渡ったためであろうと思うがどうだろう。

とにかく、神戸市内に戦後いろいろのモニュメ



ントが新設されたが、ただの物真似の凡作愚作の多い中に、背広とマンジの二個は新鮮な氣を吐いている。

ただし、文句をつけると、背広の方は赤褐色のタイル敷広場でなく、芝の方がよかつたのどちらがうか。あの瀬戸内海産の白い花崗岩を引立たせるには芝の方がよさそうだ。もつとも芝は冬枯れがあるし、刈込みも必要だから手がやけはするが。

昨日、垂水の市営墓地から電話がかかった。

「お宅所有のお使いにならん墓地を、お掃除してもらわんと隣接の墓へ草や木がのびて非難がでています」

母が疾うに墓地を買っていたことは知っていたが、毎年なにがしかの管理料を納めるだけで、母の骨も祖先伝来の兵庫の寺の墓へ入れた。垂水の方は見もししないで三十年近く経ってしまつていた。

おそるおそる息子をつれて鋸や刈込鋸をもつていったら、なるほど草ぼうぼう、小松まで成育している。面積はプレハブの小屋一軒がらくに立つ。売りも、贈与も規則としては禁じられているそうな。

いつぞ、モニュメントを建立してやろうかと考えた。さて、建立していくのなら、何をどう造型しようか。私だとて十数年前、兵庫高校の庭に沖縄県最後の知事、島田叡氏の鎮魂碑を設計した経験がある。背広やマンジを凌ぐものができるかもしない。半分冗談にしても、ちょっと乗つてみたい発想だ。

新しい語学教授法 LL

田 島 博

△神戸市外国語大学教授▽

「LL」ということばは、語学教育に多少なりとも関心のある人なら、だれでも、今日では、知っている。衣服のサイズをあらわす記号にも使われているらしいが、ここでいうのは、Language Laboratory の頭文字をとった略語で、録音機の発達とともに、それを語学教育にとりいれた教授法が戦時中アメリカで開発され、戦後、日本に紹介されたが、その教授法で使用するテープレコーダーを主体にした語学練習装置のことである。文部省も近年 LL の効果を認めてその普及に力を入れ、大学の新設には LL の施設をひとつずつ条件とし、中・高校にも LL の利用をすすめる方針をとってきている。

Language Laboratory は、はじめのうち、語学実験室、語学実習室、語学練習室、語学ラボラトリ、ラボなどと、まちまちな呼びかたをされていた。現在一般におこなわれている「LL」という略称を用いはじめたのは、実は、神戸外大のわれわれで、昭和三十五年、LL の設置を検討する委員会を組織し、その報告書の中で、この略称をつかったのである。それが、しだいに広まりやがて全国的にもちいられるようになって、近畿では、外国人の書いたものの中にも見うけられる。

昭和三十五年の委員会発足当時、LL の施設は、全国でもめずらしく、学校関係でそれを備えていたのは、東京の国際キリスト教大学、名古屋の南山大学、近畿では天理大学くらいであった。いずれも、今からみれば不備

なもので、それよりも、あちこちの航空自衛隊の訓練所にアメリカから持ちこんだ LSI があり、そのほうがわれわれの参考になった。

神戸外大 LSI 委員会の報告書にもとづいて設計、施工を引き受けたのは、松下通信工業株式会社だったが、松下にとっても LSI の製作は初めての経験である。われわれと共にで研究をすすめることになり、採算を度外視してわれわれの注文をきいてくれた。当初は、会社内部でも、LSI についての認識は浅く、将来性を疑問視してためらう向きもあつたらしい。それを説得して全面的な協力体制をととのえ、昭和三十六年には、ナショナルの LSI 第一号機が誕生して神戸外大に設置された。

われわれが LSI 建設の準備をすすめていた昭和三十五年の十一月に、近畿地区大学一般教育研究協議会外国語部会が神戸外大を会場として開催された。その機会に、LSI 委員会は、その報告書の概要をつたえ、さらに LSI による語学教育の改善につき互いに協力して研究することを提倡した。それが支持をうけて、LSI のための全国的な研究組織をつくる世話人会がうまれた。そして、その翌年の九月には、既に完成していた神戸外大の LSI をもじいて研究会をひき、その席上で、「語学ラボラトリ協会関西支部」の発会式がおこなわれた。この時点では、語学ラボラトリ協会には七月に発足した本部と関西支部があるだけで、他には支部が存在しないとい

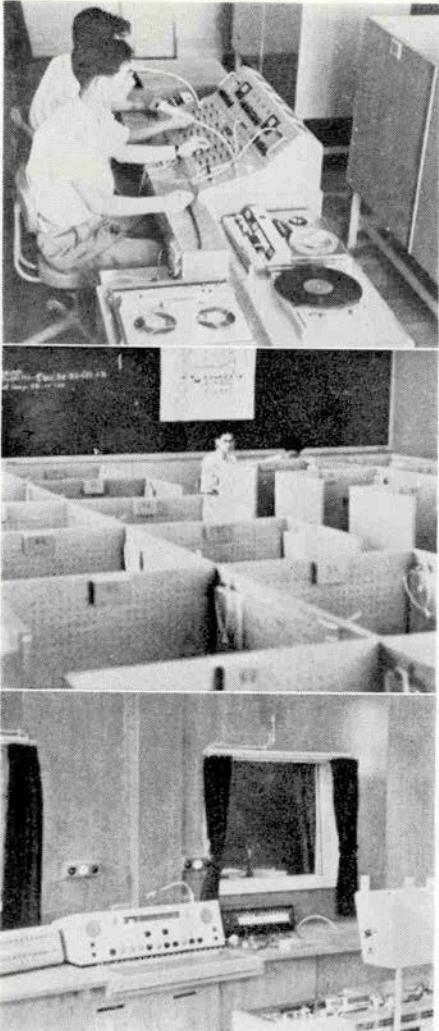
う奇妙な形になっていたが、やがて十一月には関東支部が結成され、関東、関西の両支部が本部によつて結ばれるという体制が確立した。本部の会長には当時の東京大学文学部長中島文雄氏、関東支部長には東京教育大学の黒田義氏、関西支部長には神戸市外国语大学の学長本田実氏がそれぞれ就任した。

学会を一つ作るということは、大変な仕事で、献身的に走りまわる人が、いく人かいて、しかも時のいきおいに乗らないことには、とてもできるものではない。その点われわれは、めぐまれていた。あの頃は、役に立つ語学を、という声が高まり、それにこたえる新しい教授法への道をひらく鍵としてししが注目されはじめた時期にあたつていた。そのうえ、学会の結成に情熱をかたむける若い人たちが、幾人も集つてくれたのである。そのうちの一人が、金田正也君だった。

金田君は、神戸外大の初代学長金田近二氏の子息で、当時は神戸市立鷹取中学校の教壇に立つていたが、父君をしのぐばかりの熱意の人であった。神戸外大での大学一般教育協議会でしし協会の設立をわれわれが提唱するに至つたのも、同君と、その友人で当時国際キリスト教大学にいた鈴木博君とに押しかけられてかわした事前の

話し合いで、われわれが、両君の意気込みに圧倒されることであつた。関西支部の発会式には、もちろん両君とも駆けつけて、なにかと面倒な仕事を手ぎわよくさばいてくれた。その後の関東支部、そして本部の発足も、両君の尽力をまたなければ、おそらく実現はしていないだろう。

両君のほかにも、しし協会を設立するために、若い人たちが、実によく働いてくれた。とりわけ、天理大学の堀内稔氏、大阪外大の乙政潤氏、神戸外大の平田重行氏など、現在は語学ラボラトリー学会と呼ばれ、関東、関西のほかに中部と九州との四つの支部を有し、会員数は千名をはるかに超える学会を育てあげた功績は大きい。神戸にゆかりの深い金田正也君は、その後大阪の桃山学院大学に招かれ、さらに名古屋学院大学に移つて、語学ラボラトリー学会中部支部の創設者となつた。鈴木博君も、東大に迎えられて、駒場のししの責任を担つている。堀内稔氏をはじめ、そのころ協会のために奔走してくれた若い人たちも、今では、それぞれに斯界の権威ある存在となつてゐる。こうした人々が育つていつただけでも、神戸外大のしし建設から出発した語学ラボラトリーハイスクールの意義は大きい。



LLの普及に多大な貢献をした神戸外大LL教室。

上からマスター・テーブル、ブース、録音室

★キャンペーン

国際文化都市神戸を考える



16

ポートアイランドは 市民ひとりひとりの財産

佐野 雄一郎

（神戸市助役）

柏井 健一

（柏井紙業株式会社社長）

鬼塚 喜八郎

（神戸経済同友会代表幹事）

森本 頴介
泰好

（都市計画設計研究所所長）

新しい市民社会を展望する市庁舎をポートアイ

柏井 神戸は明治以来、トランスポーテーション（輸送）

基地として発展してきました。つまり、神戸経済は港を

中心とする人と物の流れに比例して盛衰して來たといえ

ます。ところが、最近は輸送手段が航空機に奪われつ

つある。確かにポートアイランドには世界一のコンテナ基

地ができる。しかし、この分野でも将来は航空機輸

送のウエイトがますます高くなると思われます。エーアー

カーゴの需要は非常なスピードで伸びています。したが

つて、神戸の将来の発展は、ひとつは、今すぐ神戸沖に

空港をもつて来るかどうかという問題は別として、空港

と神戸とをどういう形で結びつけるかにかかっています。

今、大阪は大阪、京都は京都、神戸は神戸なりの位置

づけを考えた場合、神戸は日本の窓口として、トラン

ポートアイランドの基地としての役割をどうしても果たさないといけないと思います。

それにもなつて人集めをしないといけない。幸い神戸はポートアイランドをもつてるので、ここに魅力ある町をつくり、その吸引力で人や物を神戸に集め、神戸

経済を振興しなければいけないと思います。

国際化時代に対応して関西新空港とを結ぶエアシティ

ターミナルを設けて、これを軸として西日本と東日本、

さらに世界との接点にしたいと、こういう話が今、神戸

具体的には次のようなものがポートアイランドに必要ではないかと思っています。

まず、市民の連帯と誇りをもたせるためのシンボルの建設。芸術文化の練習場として、また発表の場としてのオペラハウスの建設。文化と産業の交流、振興のため見

本市都市（メッセ）の建設。ミニミュージアムの建設。

文化情報の生産のため芸術家用のアトリエタウン、

マンション工房や即売場をつくり、国内外から多数の芸

術家を集める国際芸術村の建設。こういったいろんな話

が出てるわけです。

佐野 我々神戸市側から申しますと、ポートアイランド

の利用計画につきましては、神戸市だけで決定するのじ

やなく、二十一世紀の新しい海上都市をどうしたらい

かについて学識経験者、経済界など各界の代表によつて
ポートアイランドの土地利用の計画委員会をつくりまし

て、コミュニティ・スクエアとかインターナショナル・

スクエアとかを固めて來たわけです。

一応のプランニングは出來たわけで、これからそれを
どう肉づけて行くか。今のところではできるだけ国際
的な情報、文化、経済、そういうものの交流の場として
和五十六年の博覧会でひとつモデルを出してみたい。
インターナショナル・スクエアを考えている。ここに昭

和五十六年の博覧会でひとつモデルを出してみたい。
インターナショナル・スクエアを考えている。ここに昭

和五十六年の博覧会でひとつモデルを出してみたい。
インターナショナル・スクエアを考えている。ここに昭
和五十六年の博覧会でひとつモデルを出してみたい。
インターナショナル・スクエアを考えている。そこには
将来の神戸の産業、経済の発展のためにいろいろなこ
とが今、不足している。まず情報がますます来なくなる
のではないか。それに対応する諸策が欠けているという
ご指摘をいただいております。そういう中で、インター
ナショナル・スクエアに国際的な情報をどうやって集め
るかということですが、映像情報のシステムを考えてい
ます。これは、生活情報、国際情報を映像システムで出
して行こうというので、博覧会の「目玉」でもあり、
将来の神戸の情報産業の一つとして具現化して行く。

国際展示場、国際交流会館という恒久的な施設も考
えて行こうというので、博覧会の「目玉」でもあり、
市や経済界がもつているものが一か所に集約できないか
と考えています。それ以外に神戸のファッショントン、神戸
の文化、たとえば、ファッショントン大学を誘致できないか
あるいは、お菓子などをファッショントン・タウンの中に集
約できないか、そういうタウンを行政がつくって業者に
お貸しする。一つのモデルとして今度の博覧会でいろい

ろと構想を描いていますが、具体的な肉づけはこれから
半年以上かかると思います。

森本 博覧会はポートアイランドの完成記念じゃなく、
ポートアイランドのスタートのデモンストレーションで
すから、あとにいいイメージを残すような博覧会にぜひ
して欲しいですね。

佐野 来てみてよかったです。またここに来ようかという一
つの起爆剤ですかね。

佐野 来てみてよかったです。またここに来ようかという一
つの起爆剤ですかね。

鬼塚 ポートアイランドにシンボルとして市庁舎を移し
たらどうでしょうか。それも行政だけの市庁舎じゃなし
に、それをコミュニティの場として、極端にいうと、ミ
ニオペラハウスや文化会館のようなものを一緒に活用で
きるようにつけてしまう。市民が文化施設あるいはコミ
ュニティの場として使える。これまでの役所という感覚
ではない市役所をもつて行けば、「核」ができるといいのじ
やないかと思いますね。

柏井 当面の問題としてポートアイランドを活気づける
問題として市役所の移転がありますね。三万人なら三万
人が毎日動くわけですからね。

水谷 今までのような役所ではなくて、市民にとって行
政のあり方は何かを明確にするものをつくる。

佐野 市民が集まり、憩う、コミュニティのような市役
所ですね。

鬼塚 我々経済界が将来の神戸市を考えたら当然、市役
所の使い方としては、従来の役所本位ではダメです。市
民とのコミュニケーション、コンビネーションをつくり
ながらやるというスタイルをここで生み出したら全国で
もユニークな存在になるし人も行きやすくなりますね。
市民が参加する行政の場所をつくるということですね。
市庁舎を政治だけじゃなくすべてに関わったシンボルに
して行く。

官民合同の国際化実行委員会が必要

鬼塚 人の流れということでいうと、どうしても飛行場

とのアクセスをどうするかということがある。極端にいえば、今の次元ではいろいろ問題があるかも分らないがもう一つ神戸沖に飛行場をつくって情報のセンターにする。長期的にはそういうことが出て来ると思います。

柏井 六甲アイランドの利用を考えた場合、その利用をどうするかは、将来の神戸にとって大きな問題ですね。西日本のトランスポーテーションの基地としての役割を

神戸がどう担うかで神戸の産業構造の在り方が決つて来



佐野雄一郎さん

ると思う。それが神戸のもつて有一つのボテンシャルといいますか、大阪や京都がどうしてももてないものですね。それを生かして行きながら神戸の将来を考える。鬼塚 六甲アイランドは空港とペアで研究しないと、計画そのものが成り立たないと思いますね。



柏井健一さん

当面の問題として一つ考えられるのは、神戸にもつと若い人が集つて来て勉強をする、勉学の町としての神戸をもう少し評価していいのじやないか。中国の方や東南アジアの方もみんな神戸に集つて来る。インターナショナル・カレッジ・シティという方向が一つあるのじやないか。中華同文学校とかカナディアン・アカデミーとかその素地はある。

それから経済と文化の“核”としてのポートアイランドができるのですが、六甲アイランドには技術と研究という背景をもつて行くべきではないか。最近、近畿の産業構造ビジョンの中で京都に研究園都市構想が出ているのですが、内陸型は確かにあそこでいいかも分らないが、臨海型の研究、特に瀬戸内海全体の臨海型の産業構造の研究基地は六甲アイランドにつくることを積極的に提案して、獲得して行くべきではないか。

もう一つは、行財政の問題に関連してこれから経済は国際的に資本主義と社会主義の交流の中でというポイントが一つあると思います。そういう意味で、香港とかシンガポールといった町の経済構造をもつと勉強する必要がある。

佐野 ポートアイランドには留学生会館をつくるということを提案しています。留学生を中心とした若い人の集まる場所をつくつて行かないといけない。

森本 もう一度ベイシックなところへ議論を戻してみたいのですが、一九八〇年代の課題は文化創造、文化の产业化、いわゆる生活のソフト化だということはどうやら定説になつて来ているとみていいのじやないかと思うのですが、そういう時代になればなるほど、神戸は一方の旗頭として存在して行ける。ということは、神戸は独自の生活文化をもつてゐるという意味で一つの分野がはつきりとあるのじやないか。それの“核”としてポートアイランドなり六甲アイランドなりがいわれているわけで、文化というと、片一方ではそういうことが定説になつて来ているのに、まだ、それが経済と関係あるのだろ

かんなあと、私はそう感じるんですが。水谷 将来はシティーポートというものを考えないといふべきひこの際つくる必要があるという気がする

佐野 将来はシティーポートというものを考えないといふべきひこの際つくる必要があるという気がする



鬼塚喜八郎さん



水谷頴介さん



森本泰好さん

うかという意見が依然としてある。

私たちも流通業界で見てみると、昨年のヒット商品でも日経の流通経済部がまとめたのを見ると、全部ソフト商品なんですね。ですからひと頃のよう大型のヒット商

品はないけれど、新しい価値観というか、生活の多様化をにらんでどこかにターゲットを絞った商品が当つているわけですね。これはいい方を変えたら技術じやなしに文化力の勝負だということです。ですから何か“サムシングニュー”が要るわけだけれど、それをつけるのはやはり文化力だということ。逆にいえば、文化をクリエイ

トしないと財布のヒモはゆるまない。そういうことからいつても、極端にいえば、現在、文化産業以外の産業はあるのだろうかといつてもいいぐらいだと思います。そのときに一ついえることは、これは日下公人さん（日本長期信用銀行）も指摘しておられたことだけど、いわゆる中央集権ということは能率は非常に上るけれど、文化的には“砂漠”だと。これは歴史なり風土なり生活なりとつながらないと文化は育たないということだと思う。そういう意味では、神戸が独自の生活文化をもっているということを軸に、これを生かしながら近畿全体にもプラスになるような方向を打ち出して行かなければならぬのじやないですか。

私はかつてポートアイランドを“ニューハート・オブ・コウベ”だと申しあげたが（旧居留地を“オールドハート”と見て）、これを起爆薬にして新しい神戸の新しい分野を開拓して行くことだとと思う。

もう一ついいたいことは、人間の知恵は情緒と連動するところよくいわれますね。だから知的活動を盛んにするには環境づくりが大切だ。そうしないと人も集まらない。ポートアイランドの町づくりでそういうことも考えたいただきたい。もう一つは特に経済界にお願いをしたいんですけど、ぜひ経済界側から、小さくともいいから何とかアクションを起こしていただきたい。そうしないと難しいんじやないかと思う。地域があつて企業があるわけですから、企業の利益の一部の地域還元をぜひお願いしたいですね。

ポートアイランドに第三セクターの設立を

柏井 神戸はミニ東京を目指すとかミニ大阪を目指すのじゃなく独自の歩き方をしないとダメだといえる。ポートアイランドに新しいユートピアといいますか、新天地が開拓されつつあるということで、これをうまく利用して神戸の特徴を生かしたものを作り神戸の中につくって行く。経済界も行政も一般市民もみんなをその気持ちへ引く。

つ張って行くようなことをしないといけない。

ポートアイランドを変に切り売りすると大変なことになる。第三セクターというものをつくり、一たんそこで買い取つて土地の開発などについて市の合意を得て、これをうまく次に譲つて行くというシステムができないものでどうか。第三セクターで維持管理する。長期的な総合開発的な協議会をつくるという話もありますが、官民合同でもいい、何か全体を運営するようなソフト面を担当する分野、これは必ず必要だと思いますね。

佐野 行政側からいいますと、第三セクターというものはごもっともで結構なんですが、現実的な問題としてそういうことをどこがやつてくれるのかということ、もう一つは、いろんな計画段階はなるほど行政側で進めていいのですが、いざ、肉づけをする実施段階で経済界がアクションを起こしていただいて、こういうものはぜひつくれと、こういう指示があれば非常にいいのですが。

それをつくつてもどこが管理運営するかという点では、

実際の問題として非常に金がかかりますから、難しい問題がある。行政サイドである程度はできますが、時期が来ますとおっしゃるよう第三セクターでやる方がいいともかかえているわけには行かないですからね。

森本 一番大事なところだけでもぜひ第三セクターでやつて欲しいですね。

水谷 ゼひ第三セクターをつくつて、本当の意味の地域開発を担つて行くセクション、これこそ官民一体でつくらなくちゃいけない。

柏井

ポートアイランドのソフトの運営の分野でも財界

がかなり力を入れて組織体をつくりあげる。もちろん行政との協調が大事ですが、そうしないと施設そのものの運営も将来うまく行かないし、変な形で切り売りされてしまうと、これを元に戻すのは大変なことですからね。鬼塚 これは神戸財界の有志という形で結束しないとい

かんだろうと思いますね。行政でやつていただける範囲は限定がある。神戸は他の都市には見られないような優秀な行政指導をやつていただいている。当然、それを早く受けてモノにして行くように地元の経済界が立ち上らなかつたらいけない。それをどういう形にして行くか。その意味では土地関係から入つて今後の活動が起こしやすい基盤をつくつてしまおうということは非常に重要な意味で、企業誘致としても、行政も財界も一緒になったそういうところで引っ張つてくるという手が出て来ると思う。企業誘致にも違つた展開ができると思う。

柏井 やり方によつては第三セクターだつてやれないことはない。ポートアイランドの土地の将来の重要さを認識してもらえばできることはない。やつてやれないことはないと思いますね。ただ、そこまで意欲を燃やしてもらえるかどうかということですね。ぜひ燃やして欲しい。

鬼塚

どこかで旗上げをしないといけないわけですよ。

水谷 そうですね。これは神戸が総力をあげてやらないと。器をつくつても中味がともなわないとね。

佐野 國際交流会館とか展示場であるとか、「核」になるものは市の方でつくりますので……。

水谷 ポートアイランドに市民としての財産をどうつくり行くか、市民の財産をどう運営して行くか、そういうプログラムが必要ですね。

鬼塚 ポートアイランドは市民の財産だということに大きな意義があるわけですよ。

柏井 ポートアイランドは我々神戸市民のものだ、という意識が必要だということですね。

水谷 今度の博覧会で、これから行政のあり方、これらの市民の財産をどうつくつていくのかという提言を含めて、みんなで考えて、みんなで身銭を切つて出品するようなプログラム、市民文化館みたいなものをやつてみたらどうでしょう。ポートアイランドは市民の財産だという認識が今、一番大事だと思います。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市兵庫区旗塚通6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市生田区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市生田区三宮町1丁目17-4
センター・プラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市生田区三宮町1丁目54
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 蔦野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上5社の提供によるものです。

経済ポケット
ジャーナル



井植貞雄理事長

理事長／井植真雄 副理事長／大森繁基、小川博、奥田晃一、寺崎繁幸 専務理事／中右靖雄 監事／浅木幸雄、清田征三郎、林正典 専務理事／中右靖雄 常任理事／亀井清一郎（總務室）、五代友和（開発室）、塙本哲夫（長期計画室）、則岡弘士（国際室）、宮本曠敏（会員室）、室／理事／寺本勤（秘書室）、樺野淳（会外）、多賀重徳（広報）、沓脱安宏（例会）、河野賢三（会員拵大）、大崎逸児（塙本勝規）、河野賢三（会員拵大）、大崎逸児（

★
新役員決定
来たるべき80年代のため
に、より確かなものをつかむ
もう！ とスタートした神
戸青年会議所（理事長・井
植貞雄）の七十九年度役員
が次の通り決定した。

（）

野成明代表幹事

★K O B E オフィスレディ★



山本 明代さん(24)

ジョン・スワイヤ&サンズ勤務

スラッと長身だが実はオットリという感じ、大学時代にクイーン神戸に選ばれて社会を経験。社会人2年生といってもなかなか落ちついている。つきあい程度のお酒もたしなみ、飲みと愉快になるお酒。さて、神戸エキナ希望の彼女、結婚は？「したいです。子供が欲しいの。可愛いでしょ」と只今光込み中。六甲在住。乙女座。

(関西学院大学法学部卒)



七五共提压

★石野証券、東京神栄証券
神栄証券の三社が合併

東京神栄証券△本社東京
・宮本三郎社長▽と石野証券△本社神戸・石野成明社
分△本社神戸・石野成明社
長▽そして神栄証券△本社
神戸・渡辺勇夫社長▽の三社
が四月一日付で合併し、
新しく「神栄石野証券」と
して発足することが決定し
社長に石野氏、会長には宮
本氏が就任の予定。資本金
は三億二千万円。

これによつて着実に基盤
を拡大してきた石野証券や
神栄証券は、証券の中央舞
台である東京に進出、つまり
は経営効率化につながり
また東京神栄証券にとつて
いる。

★玉井操氏永眠

玉井商船社長の玉井操氏
が昨年十二月二十三日、急
性心不全で死去され、二十
五日、兵庫区の藤之寺で告
別式がとり行なわれた。喪
主は長男の神戸船渠社長、
玉井新吉氏。

同氏は四十一年から四十
七年まで兵庫県公安委員、
また三十九年から神戸商工
会議所副会頭、他に公団共
有船主協会会长、日本船主
協会常任理事などをつとめ
ていた。享年七十五才。

に入社。神戸青年会議所理事長、神戸経済同友会労働部会長、同企業経営部会長を歴任。五十一年四月から向友会常任幹事をつとめている。

★玉井操氏永眠

も関東に限られていた営業基盤が関西にも拡がり、大証でも売買できることになり、全国でも有数の中堅証券の誕生となる。

刀劍 古美術



南蛮厨子(長崎銀象嵌)￥870,000

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 古 美 術
元町美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

海の贈り物



タオル・ナフキンエプロンも
セーラースタイル

2月は贈り物をしたい月。
去年の海の想い出と、今年の海の憧れを
ヨットマンのシャスのオーナーが
心をこめて選んだコレクションの数々。



Marine Boutique
CHASSE

Kobe International Hotel Shopping Arcade (078) 251-8161
Kyoto KINTETSU Annex. 2 Fl. (075) 343-0581

お子さまの幸福を願つて…
三月 ひな人形

名匠作逸品が豊富に
品揃いしております



おもちゃの
カメヤ

三宮方面でのお買物は…

さんちか店 フラミリータウン

☎391-4045

三宮店 センターブラザ1階

☎331-4969

元町方面でのお買物は…

元町店 元町通3丁目山彌

☎331-0090

元町東店 元町1番街不二家前

☎391-0768

神戸駅前面でのお買物は…

サンこうへ店 神戸駅前地下街

☎351-6002

ソフィスティケートされた貴女に



ハイセンスな神戸のグラスファッショ

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 T E L 331-1123